

会員だより

朝顔

今年の総会のととき、いろいろお土産をいただきましたが、その中に朝顔の種がありました。会員から頂いたものですが、私はいたって不調法で植物が育てられないのです。



落花生の花

勇ましく落花生を植えたのですが、酷暑の毎日、朝夕一生懸命水やりや、草取りをしたのに、収穫は、しなびた落花生 6 粒でした。会報に過程を投稿したのに恥ずかしくて結果もお知らせできませんでした。去年は同じ階に住む T さんに朝顔の花で 12 月まで楽しませてもらいました。T さんはいろいろの植物を育てておられ、お部屋が東の端で、小さいベランダもあるのでそこに鉢植えの草花などをたくさん置いておられます。その T さんにお願ひして育ててもらうことにしました。なんとも無責任なと思われるでしょうね。



部屋で育てる

他の鳥の巣で自分の卵を育てさせる鳥のように。恥ずかしい限りです。5 月初めに種を蒔きました。T さんの部屋の前に二鉢、玄関のわきに直播で 5・6 個蒔きました。2・3 日前にはほんとに小さい蕾だったのに、今日、6 月 26 日、奇麗な濃紫の花がやや小ぶりですが見事に咲きました。



見事に咲いた朝顔

草花の成長の早さに驚くとともに、蕾がたくさん付いているので、これからが楽しみです。

一緒にいただいたもう一つの種もどんな花を咲かせてくれるか楽しみにしています。

記・写真…牧戸富美子

ニイハオ " 台湾 "

約 15 年前に訪れた台湾に再び旅行することになった。前はバスで台湾をほとんど一周した時は道路が整備されていない辺鄙な所を走って、やっとたどり着いたガソリンスタンドが閉鎖されていて困ったのを憶えている。今の台湾はすっかり都会的になっていった。今回は台湾の中央部の 2 万 3000 m の高地を巡るツアーで日本なら上高地辺りを散策するようなもので、20 度前後で涼しいらしい。関空から 3 時間半とは日本より一番近くて、一番安全な外国かもしれない。予定通り台南空港に着いた私達を迎えたのは日本にも留学したことのある現地の女性で日本語も堪能でガイド歴も長そうで頼もしい女性だった。まずは「月世界」見物。その名の通り、月面を髣髴とさせる地形。長い年月、雨と河の水によって浸食され、岩の上に泥や砂が堆積し、地殻変動や風化沈積を繰り返して出来た姿という。その夜泊る関子嶺の露天温泉は月世界の泥を引き込んで、泥パルクの美肌効果が売り物だったが、雨が少なく泥がな



火水同源、天然ガスが 300 年水の上で燃え続けている

くて、プールは閉めてあり期待外れだった。他の効能のある露天風呂巡りと室内温泉は殆ど日本と同じく気持ちの良いものだった。

二日目の珍しい所は北回歸線標塔です。巾広い道路に掛かる橋に大きく表示があります。橋のたもとを歩き来することで熱帯と亜熱帯を渡ったことになる。「1923 年日本裕仁皇太子來台」と案内板に中国語で書いてある(後の昭和天皇)。このツアーの売り物は阿里山高地の散策と二回の日の出観賞である。年間の平均気温が 15 度という快適な地域で阿里山森林遊楽区として整備され、巨木群の中で森林浴を十分楽しめる。日の出観賞一度目は朝日が昇る時間に合わせて二往復しかしない登山列車を利用して、防寒具着用で 3 時半ホテル出発である。この登山列車はヒノキ搬出の為、1905 年、東京大学の河合教授が

設計、6 年掛かって開通したもの。現在は日の出観賞客の為だけに運転されている。祝山の暗黒の山頂駅に着いた後、次第に開けてくると名物の一つ、見事な雲海が広がっている。対面の稜線の最高峰が玉山(新高山) 3952 m である。日本統治時代、富士山より高く、日本一高いとされていた。昭和 15 年 12 月 8 日真珠湾攻撃の際の日本海軍の暗号が「ニイタカヤマノボレ」だった。因みに映画の題名にもなった「トラトラトラ」は「真珠湾攻撃ワレ成功セリ」。この日は少しの雲に邪魔されて日の出が見れない。後ろ髪を引かれる思いで、下山列車の予約時間に急かされて乗車。窓から樹林の中に神々しく輝く太陽を見て感激した。



大雪山系 3000m の山あいから再度日の出観賞

翌日約 3000 m の大雪山系の一部からまさに生命の起源を感じる日の出を見ることが出来て満足した。四日目の観光地は西遊



玄奘寺最上階より日月潭を見降ろす太陽と月の形の高地にある湖

記のモデルになった玄奘三蔵法師の遺骨を祀る玄奘寺である。この遺骨は日本統治時代、何故か長野県のごかに持ち込まれていたが、国交友好の条約が交わされた台湾のこの地にもどされた。



台湾新幹線

103 歳、旅行でもフレッシュ感を持ちたいものだ。

再見 (サイチェン) 台湾! 記・写真…上村サト子